

【1】アンケート結果（現在の中学校昼食について）

|                   |                   |        |        |       |
|-------------------|-------------------|--------|--------|-------|
| 普段、学校で食べる昼食はどれですか | 手作り弁当             | 98.24% | 食べていない | 0.24% |
|                   | 市販の昼食（パン、おにぎり、弁当） | 0.80%  | その他    | 0.24% |
|                   | デリバリー弁当           | 0.48%  |        |       |

| 区 分     | 比 較                          |                              | 内 容                                                                                                                                                                                            |
|---------|------------------------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | 子どもの回答                       | 保護者の回答                       |                                                                                                                                                                                                |
| 手作り弁当   | 手作りで美味しい24.22%               | 傷まないか心配18.91%                | ・普段、弁当を持参している子どもは98.24%（回答数1,251人中）。ほとんどの家庭が弁当を持たせている。<br>・弁当に対する子どもの満足度は高い。家庭弁当は子どもの健康管理、健全な発育、保護者と子どもの相互理解と信頼関係など、思春期の子どもと家庭及び学校を繋げるコミュニケーションになっている。<br>・一方で保護者は、弁当に対する負担と不安（衛生面、栄養面）を感じている。 |
|         | 安心17.57%                     | メニューがワンパターン15.64%            |                                                                                                                                                                                                |
|         | 食べる量を調整できる17.01%             | 食べる量が調整できる13.68%             |                                                                                                                                                                                                |
|         | 感謝の心が育つ10.05%                | 手作り弁当の負担が大きい13.13%           |                                                                                                                                                                                                |
|         | 休み時間が有意義に過ごせる8.24%           | 安心7.55%                      |                                                                                                                                                                                                |
| 市販の昼食持参 | 家庭弁当の代わりに持って行くことができてよい29.48% | 家庭弁当の代わりに持って行くことができてよい33.65% | ・子ども、保護者とも、市販の昼食持参について便利と認識している。<br>・一方で、市販の昼食に好印象な子どもとは反対に保護者には、栄養面で不安や、コスト面で不満を感じている。                                                                                                        |
|         | 自分に合ったものを選べる26.54%           | 栄養のバランスが心配22.65%             |                                                                                                                                                                                                |
|         | 美味しい15.31%                   | 値段が高い16.22%                  |                                                                                                                                                                                                |

（委員会の意見）

家庭からの弁当については、思春期の子どもと家庭を繋ぐコミュニケーションツールとして大きな役割と意義が認められる。家庭弁当に対する子どもが持つ感謝の気持ちや、保護者が子どもの健康や成長を考え作っている思いは、アンケート結果から多く読み取ることができた。

一方で、子どもの健康や成長を考える中で、栄養バランスや豊富なメニューという視点で家庭弁当における限界を感じる他、夏場の衛生管理、共働き世帯やひとり親世帯の増加による社会環境の変化、また、子どもの好みに合わせる食材等の偏り等で家庭弁当で十分に栄養が摂取できているかなど、すべての子ども達にとって、何が本当に望ましい昼食になっているか考えなければならない。

また、ごく少数ではあるが、昼食を持ってきていない子どもや、少量のパンしか持って来ていない子どもがいることも確認でき、中学生にとって大切なことはなにか、どのような昼食がふさわしいのか考えていくことが重要である。

【2】アンケート結果（デリバリー方式の選択式注文弁当）

| 区 分          | 比 較                            |                       | 内 容                                                                                                                                                                                           |
|--------------|--------------------------------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              | 子どもの回答                         | 保護者の回答                |                                                                                                                                                                                               |
| 昼食の選択制       | 選択できるのはよい58.62%                | 選択できるのはよい40.73%       | ・子ども、保護者とも、現在の昼食の選択制について、「選択できる昼食」を肯定しているものの、実際の昼食は、ほぼ毎日家庭からの弁当を持参している子どもが98.72%であり、選択制がよいとしているが、選択する選択肢に偏りがあることがわかる。                                                                         |
|              | 家庭から昼食持参がよい28.10%              | 曜日によって決める方がよい22.09%   |                                                                                                                                                                                               |
|              | 曜日によって決める方がよい6.15%             | 選択より全員がデリ弁当がよい14.67%  |                                                                                                                                                                                               |
| デリ弁当を利用する理由  | 利用したことがある5.22%                 | 利用したことがある6.73%        | ・利用したことがある子どもで、ほぼ毎日利用している子どもは0.56%とごく少数である。<br>・子どもがデリ弁当を利用する理由として、デリ弁当自体のよさでなく、置かれている状況により選択していることがわかる。                                                                                      |
|              | 保護者の考えだから30.56%                | 栄養のバランスがとれているから29.17% |                                                                                                                                                                                               |
|              | 弁当を作る人の時間がないから16.67%           | 弁当を作る時間がないから16.67%    |                                                                                                                                                                                               |
|              | 手軽に注文できるから登下校時、荷物が軽くなるから13.89% | その他16.67%             |                                                                                                                                                                                               |
| デリ弁当を利用しない理由 | 利用したことがない93.27%                | 予約システムを登録していない87.44%  | ・様々なアンケート結果からわかることは、子どもは家庭弁当の満足度が高いということ。選択できる昼食を肯定しているが、選択肢であるデリ弁当について、デリ弁当に課題があるというより、それを利用する状況が利用を阻むという回答が多くを占めた。選択肢として設定しているデリ弁当が選択肢になっていない。<br>・現状ではデリ弁当を利用せず、コンビニなどにより容易に昼食を準備することができる。 |
|              | 家庭弁当がよい45.62%                  | デリ弁当の状況が利用を阻む28.52%   |                                                                                                                                                                                               |
|              | デリ弁当の状況が利用を阻む28.52%            | 家庭弁当がよい45.62%         |                                                                                                                                                                                               |
|              | デリ弁当に課題がある12.91%               | デリ弁当に課題がある12.91%      |                                                                                                                                                                                               |

（委員会の意見）

多くの子ども、保護者は昼食を選択できる現在の方式に満足しているが、家庭弁当、市販の昼食、デリ弁当という選択肢の中、大半が家庭弁当を選択している。

少数であるがデリ弁当を利用している子どもはいる。またごく少数ではあるがほぼ毎日利用している子どももあり、デリ弁当が家庭弁当を持参できない家庭の昼食として、役割を果たしている。

しかし、急に弁当が用意できない時の対応として行っているデリ弁当であるが、子どもは市販の昼食（パン、おにぎり、弁当）で容易に昼食が準備できる現状では、デリ弁当のニーズは低い。

利用率の高い、低いだけの評価ではなく、継続して利用している子どもがいる以上、事業の意義はある。

デリ弁当を利用した感想では、「味、ごはんの量、おかずの量」とともに利用者のほぼ半数が「よい」と回答しているものの、利用率が上がらない。

その理由として、デリ弁当に課題があるのではなく、家庭弁当を支持する子どもが多いことによるデリ弁当の必要性の低さ、配膳室に取りにいく、昼食時間が短い、友達が利用しない、予約が面倒、予約方法がわからない等、デリ弁当の状況が利用を阻んでいることがわかる。

また、子ども、保護者より「デリ弁当を食べる日を設ける」という意見が多くあった。

利用しない理由の中で、「友達が利用しないから」と多くの回答があった点について、思春期特有の「人と違うことを嫌う」傾向が読み取れる。

市内の中学生で、市販の昼食を持参及び昼食を持って来ない子どもの数は、少数ではあったが、存在はしている。

【3】アンケート結果（これからの中学校昼食について）

| 区 分             | 比 較             |        |                 |        | 内 容                                                                                                                        |
|-----------------|-----------------|--------|-----------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | 子どもの回答          |        | 保護者の回答          |        |                                                                                                                            |
| どんな昼食が<br>いいですか | 家庭からの弁当（44.28％） | 57.60% | 小学校のような給食       | 74.63% | ・子どものほぼ半数は家庭からの弁当を希望している。しかし、中学生の食に対する嗜好が多様化している中、自分自身が自ら食や好み、食事量、体調等に応じて選択できる昼食を望んでいる。<br>・保護者については、ほぼ8割が小学校のような給食を望んでいる。 |
|                 | 現行方式の昼食（13.32％） |        | 現行方式の昼食（10.65％） | 17.40% |                                                                                                                            |
|                 | 小学校のような給食       | 23.20% | 家庭からの弁当（6.75％）  |        |                                                                                                                            |
|                 | どの昼食でもよい        | 16.01% | 弁当業者による弁当給食がよい  | 3.17%  |                                                                                                                            |

(委員会の意見)

「家庭からの弁当」を望む子どもが多く、その理由は自分の好きな物が食べられるや、弁当が美味しいから、自分にあった量が食べられる、家族が作った弁当は安心できるが最も多かった。また、中学校生活が忙しい中、手軽に食することができる家庭弁当の利便性、家族への感謝の気持ち＝ありがたみが実感できるツールとなっていることも家庭弁当を子ども達が指示する一因だと感じた。

また、「小学校のような給食」では、給食を肯定する意見（温かい、栄養バランスが良い）だけでなく、給食を実施することで家庭弁当を作る人の負担が減ることに多数意見が集まったことも、現在の社会情勢の中におかれている様々な家庭のあり方が垣間見られた。

「どの昼食でもよい」という回答の中にも、どの昼食に置いてもメリット、デメリットがあることを知り、それぞれの家の事情に合った昼食をそれぞれが選択できることをよしとする、相手やまわりに気遣う中学生ならではの回答だと思う。

保護者は、ほぼ8割が「小学校のような給食」を望んでいる。その理由として、栄養のバランス、温かい物、冷たい物が食べられることに意見が多数集まった。ほぼ毎日、弁当を持たせている家庭が9割を超えるアンケート結果の中、保護者の子どもへの思いが大きいことがわかる反面、1日3食を家庭で準備する毎日に、栄養のバランスが十分かどうかの不安が、弁当作りへの負担につながっているように思う。

どの昼食においても、メリット、デメリットがあり、また子どもの思い、保護者の思いも様々である。共働き世帯の増加、核家族化、ひとり親家庭の増加などの社会環境の変化の中、子ども達が置かれている状況も様々となってきているのは現実である。

家庭弁当には、保護者が子どもを思い、考え、作り、それを子どもが食べることでコミュニケーションとなり、家族との絆を深めるものとなっています。

給食には、温かい（冷たい）食事が摂れることは大きな利点であるし、弁当では限りがある多種多様な食材を提供できることで、栄養のバランスもよく、また食を通じて様々な発信や、食文化の伝承などの食育にも寄与するものとなる。

「子どもたちにとって」何が1番よい昼食なのか。それぞれの昼食にある、それぞれの良さ、それぞれの課題に、どれが「1番」と言い切れないところがある。